

## 令和3年3月23日(火)

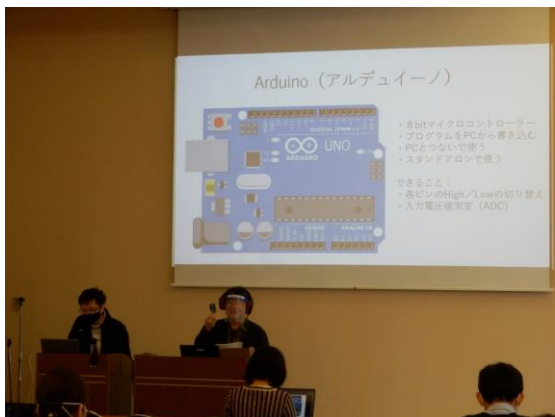
創成科学研究棟 大会議室において、「部局・分野横断技術交流会」を開催しました。

この交流会は、技術職員が自ら企画、運営、講師を担い、各自の持つスキルの継承・伝達・強化を図るとともに、異分野の技術職員と技術を通して交流することで、技術職員同士の全学的な人材交流・技術情報交流・技術強化を目的としたものです。

今回は、電子科学研究所、アイソトープ総合センターの技術職員を講師とし、**Arduinoと呼ばれるマイコンボードを用いて各種測定データをPCに取り込み活用する方法を実習形式で研修**しました。

実習はコロナウイルス感染防止対策を万全にして行った対面方式のほかに、ZOOMを用いたオンライン方式でも同時に実施し、和歌山研究林や中川研究林など全国各地の技術職員も含め、**現地参加14名、ZOOM参加8名のあわせて22名で実施**。ZOOM参加の受講者へは、当日使用する機材や部品等の実習キットを事前に配布し、オンラインで配信しながら現地参加者と同時に受講するなど、Withコロナの時代に即した企画となりました。

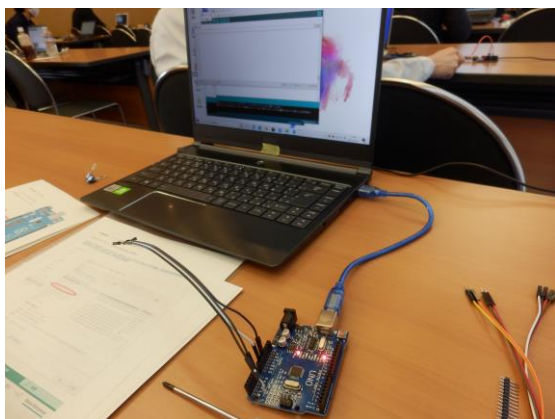




## 実習内容

### Arduinoを用いたPCへの温度データ取り込み実習

- 開発環境のインストール (Arduino IDE, VSCode, Python)
- LED点滅実習 (Arduinoによるデジタル出力制御)
- PythonによるGUI作成実習
- ステッピングモーター操作実習 (CNCシールドへの応用)
- 温度センサーデータ取得実習 (Arduinoによるアナログ入力測定)
- Excelによる温度データ取得実習 (Arduinoによるシリアル入出力測定)
- M5StickCによる温度データ計測とクラウド (Ambient)による表示



## 受講者の声

様々な部局から専門の異なる多くの技術職員が受講し、参加者からは「今後の業務へ活かしていくための新しいきっかけになった」、「情報交換の良い機会になった」等の意見が聞かれ、有意義な交流会となりました。この「部局・分野横断技術交流会」は、今後も様々なテーマで継続して行っていく予定です。

受講者アンケート結果 URL : [https://drive.google.com/file/d/1zeIEIB2c6EU\\_VxvD4DptwplS-2NJmKAq/view?usp=sharing](https://drive.google.com/file/d/1zeIEIB2c6EU_VxvD4DptwplS-2NJmKAq/view?usp=sharing)

### 技術支援本部研究支援人材育成プログラム実施専門部会/マルチスキル人材育成プロジェクト

実施専門部会長	： 松尾 孝之	工学研究院
全体フォロー	： 岡 征子	創成研究機構
担当	： 榎本 浩志	北方生物圏フィールド科学センター
担当	： 高塚 徹	低温科学研究所
委員	： 佐藤 浩幸	北方生物圏フィールド科学センター
委員	： 佐藤 陽亮	低温科学研究所
委員	： 阿保 憲史	アイントープ総合センター
委員	： 遠藤 礼暁	電子科学研究所

本企画は文部科学省「先端研究基盤共用促進事業 (コアファシリティ構築支援プログラム)」(令和2年度～6年度) 北大コアファシリティ事業の一環として実施されました。